

今年も大盛況 海の幸を食べてく祭2022

10月29日、久米島漁協水産物加工処理施設前で「海の幸を食べてく祭」(主催：久米島町漁業集落×久米島漁協×くめじまDMO)が開催され、久米島近海で獲れた魚介類の調理販売、魚・車海老のつかみ取りなどが行われ、多くの来場者で賑わいました。前年までは久米島漁協が中心となり実施していましたが、今年から離島漁業再生支援事業補助金を活用して久米島町漁業集落(代表者：田端裕二氏)が中心となって実施しています。同漁業集落は本町における漁業再生を目指し日々様々な取り組みに努めており、この祭りは「魚食普及」を図る目的で実施されました。



操縦桿をにぎり気分はパイロット

11月19日(土)久米島空港に小型機7機が飛来し「AOPA-JAPAN航空祭」が開催されました。

島内外から約620名が会場に訪れ、駐機場ではセスナや水陸両用機、ホンダジェットなどの飛行機の機内見学や記念撮影、オーナーとの会話を楽しんでいました。ターミナル内で行われた「航空教室」では、RACのパイロットやCA、整備士等がお仕事についての話やクイズ大会を開催しました。参加した子どもたちは飛行機やパイロットとの触れ合いに目を輝かせていました。

介護の基礎を学ぶ

令和4年11月11日(金)～16日(水)に旧久米島中学校体育館において「介護に関する入門的研修」が開催されました。

この研修は離島により研修の機会が少なく、介護の資格を有する人材に限られる本町において、介護に関する基本的な知識を身につけるとともに、介護の業務に携わるうえで知っておくべき基本的な技術を学ぶことで、介護分野への参入のきっかけを作ることを目的に開催しました。今回の研修では6日間の全日程を修了し、24名の方が「介護職入門的研修」の資格を取得しました。

福祉課では引き続き介護に関する啓蒙活動や介護人材の確保に向けた取組を進めてまいります。



MANATIIプロジェクト ～久米島のきれいな海を守る～



令和4年11月2日より、久米島町において約20の事業所が参画する「プロジェクトマナティ in久米島」が開始されました。このプロジェクトは、久米島町を訪れる方々が、ワンコイン(500円)でマナティバッグをレンタルし、気軽にビーチクリーンができる仕組みです。Well-Being&CoachingNangoku,Incの鳥谷部愛さんは、東京から友人が久米島を訪れた際に観光で行ったビーチに沢山のゴミが落ちており、久米島の海をどうにかしたいという思いから(株)マナティ(代表取締役 金城由希乃)と連携し「プロジェクトマナティ in久米島」が開始されました。

プロジェクト参加の案内で町内の事業所をまわった際に、「久米島の海をきれいにしたい」という皆さんの熱い思いが印象的だったそうです。

誰でも気軽に楽しくSDGsに貢献できますので、体験してみたいかがでしょうか。

